

資料②：平成 26 年度実証運行結果及び現  
在の運行状況について

平成 27 年 6 月

南 城 市









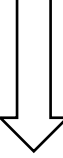
## 1 平成 26 年度実証運行の概略

- 平成 26 年度は、無償実験と有償実験の 2 つの実験を実施しました。
- 無償実験から有償実験に移行したことにより、300 円の運賃が必要となった一方で、南城市民は年齢制限がなくなり、65 歳未満でも利用できるようになりました。

表 1.平成 26 年度実証運行の概略

項目	無償実験	有償実験
デマンドバスの運行範囲	久高島を除く南城市全域	同左
利用対象	南城市を訪れる観光客及び 65 才以上の南城市民	南城市を訪れる観光客及び南城市民（年齢制限なし）
利用料金	無料	一人一律、1 回 300 円（未就学児は無料）
運行形態	①ドア to ドア方式で区域運行の「おでかけなんじい」 ②路線定期運行の「観光おまかせなんじい」	①ドア to ドア方式で区域運行の「おでかけなんじい」
実験期間	平成 26 年 4 月 10 日（木） ～平成 26 年 12 月 8 日（月）	平成 26 年 12 月 10 日（水） ～平成 27 年 3 月 31 日（火）
運行曜日	平日・休日の毎日	同左
運行時間帯	8～21 時	同左
導入車両	10 人乗り 2 台、8 人乗り 3 台の計 5 台	10 人乗り 3 台
利用方法	観光客は登録なしで、南城市民は登録制で、利用したい便の 1 時間前までに電話にて予約	観光客は登録なしで、南城市民は登録制で、利用したい便の 30 分前までに電話にて予約

表 2.「おでかけなんじい」と「観光おまかせなんじい」の運行状況

時期		おでかけなんじい	観光おまかせなんじい
平成 25 年度	12 月	 12/9	
	3 月		 2/28
平成 26 年度	4 月	無償運行	無償運行
	9 月		 9/30
	12 月	 12/8	
	3 月	 12/10 有償運行 (300 円)  3/31	
平成 27 年度	4 月		
	3 月	有償運行 	
平成 28 年度	4 月	 本格運行 (予定)	

## 2 デマンド交通の運行状況

- 「おでけなんじい」の1日あたりの平均運行便数は、H25 無償実験の28 便/日から、H26 無償実験期間中は徐々に増加し、期間中の平均運行便数は40 便/日まで増加しています。(1日13時間帯運行していることから、1時間あたりに直すと3.1 便/時)
- しかし、H26.12月10日からの有償実験以降は、運行本数は減少し、1日あたり29 便/日(1時間あたり2.2 便/時)とH25 無償実験時と同じくらいの運行本数に減少しています。
- 時間帯別の平均運行便数をみると、すべての時間帯でH26 無償実験の便数が多くなっています。
- なお、平成27年度の運行便数は4月が30 便/日、5月が29 便/日とH26 有償実験とほぼ同じ水準で推移しています。

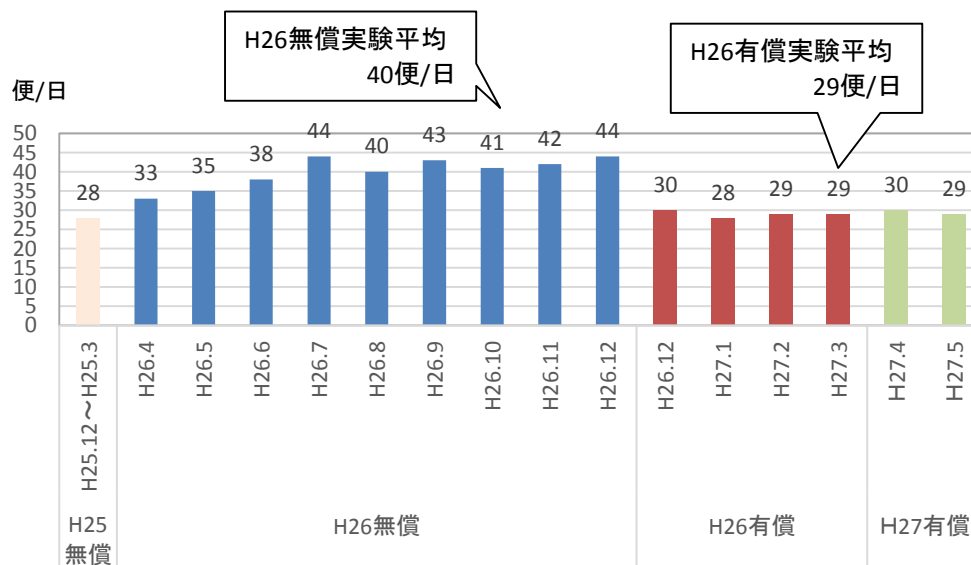


図-1.平均運行便数の推移

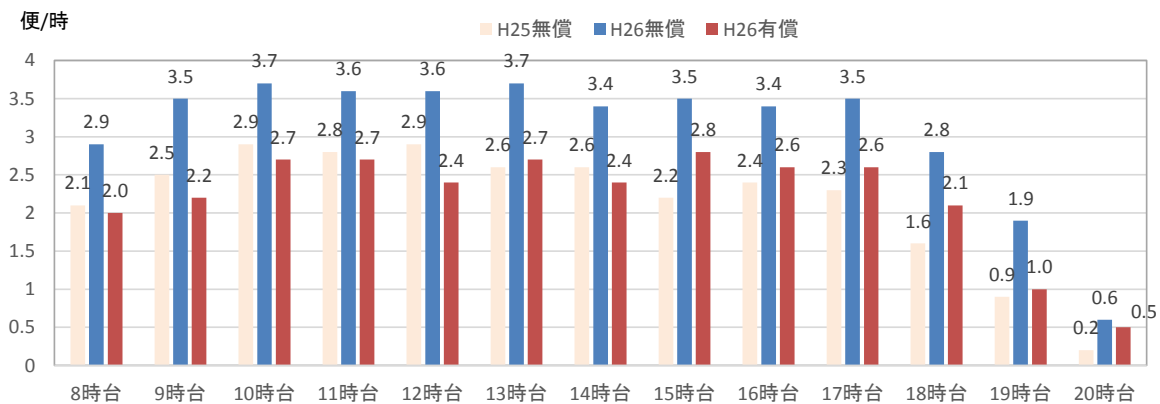


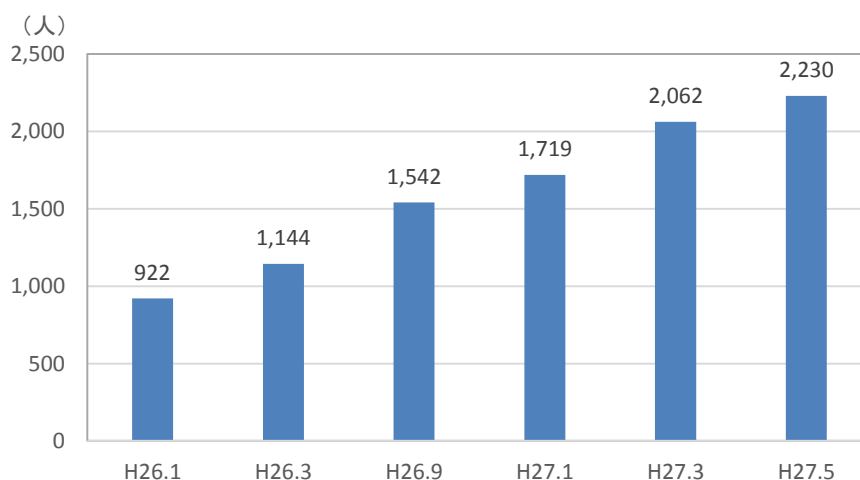
図-2.時間帯別の平均運行便数

### 3 デマンド交通の利用状況

#### 3.1 登録者数

- 登録者数は、平成26年1月の922人から平成26年3月には1,144人と1,000人を超え、H27.3には、2,062人と1年間で918人（80%）増加しています。（※ただし、個人と団体の両方で登録されるなど重複して登録されている方もいる。H27.3では200人の方が重複登録※と考えられる。）
- なお、平成27年5月における登録者数は2,230人と、4月以降も登録者数は増加しています。

※個人での登録に加え、団体の代表者が既に登録しているのを知らずに申し込むなどして同一人物が重複して登録されているケースがある。



※登録者数は、一人で重複登録されている方も含まれます。

図-3.登録者数の推移(重複登録含む)

- 重複を除いた2月初旬の65歳以上の純登録者数は1,484人とみられ、65歳以上人口に占める登録割合は、16%となっています。
- 登録割合は、行政区でバラツキが大きく、数%の行政区もあれば、「大里ニュータウン」では40%以上、「仲村渠」、「山里」、「富祖崎」30%以上の高い登録割合になっています。
- なお、65歳未満の登録者数は204人で、登録率は0.7%にとどまります。

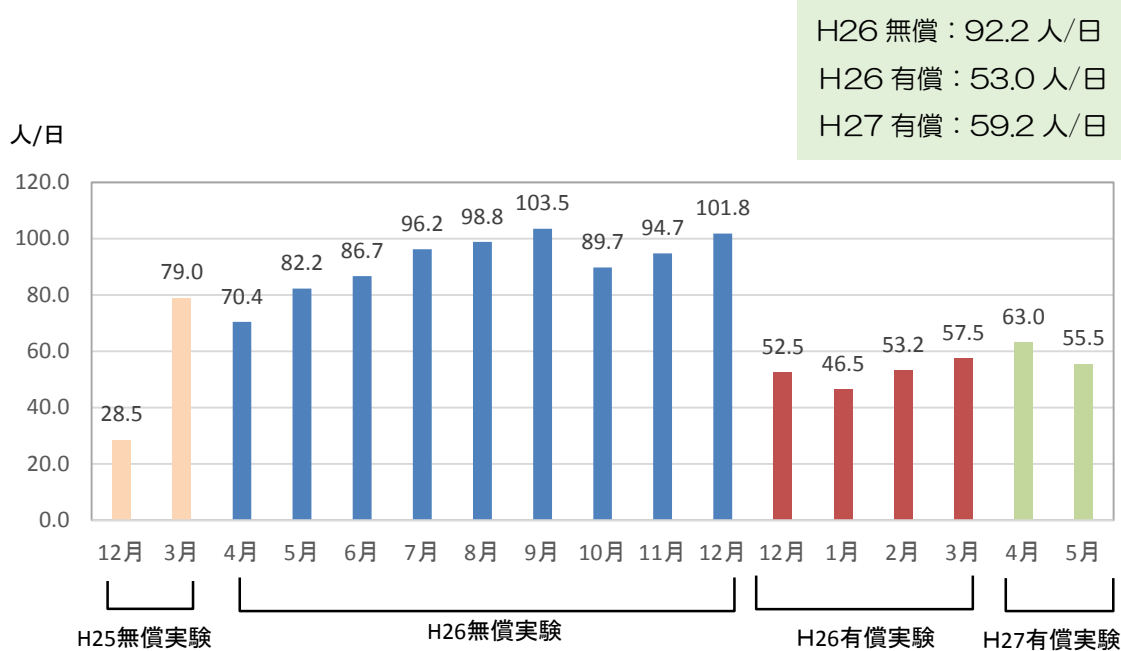
表 1.行政区別の「おでかけなんじい」登録状況(H27.2)

	65歳以上人口	登録者数	登録率	備考		65歳以上人口	登録者数	登録率	備考
玉城地域	親慶原	302	77	25.5%		津波古	649	70	10.8%
	垣花	111	24	21.6%		小谷	159	13	8.2%
	仲村渠	72	24	33.3%		新里	205	20	9.8%
	百名	200	44	22.0%		兼久	101	19	18.8%
	新原	70	12	17.1%		佐敷	203	38	18.7%
	玉城	46	3	6.5%		手登根	207	50	24.2%
	中山	71	12	16.9%		伊原	78	17	21.8%
	奥武	261	12	4.6%		屋比久	106	24	22.6%
	志堅原	94	9	9.6%		外間	46	3	6.5%
	堀川	135	27	20.0%		富祖崎	119	39	32.8%
	富里	84	14	16.7%		仲伊保	153	31	20.3%
	富山	92	12	13.0%		新開	293	80	27.3%
	屋嘉部	99	9	9.1%					
	糸数	150	33	22.0%					
	喜良原	172	8	4.7%					
	船越	247	52	21.1%					
愛地	144	8	5.6%		小計	2,319	404	17.4%	
前川	252	20	7.9%		西原	35	6	17.1%	
小計	2,602	400	15.4%		南風原	74	9	12.2%	
知念地域	志喜屋	207	59	28.5%		平良	77	4	5.2%
	山里	67	21	31.3%		嶺井	133	15	11.3%
	具志堅	60	11	18.3%	刑務所含まず	嶺井団地	90	0	0.0%
	知念	195	28	14.4%	自衛隊含まず	古堅	93	15	16.1%
	吉富	49	6	12.2%	自衛隊含まず	福原	103	2	1.9%
	久手堅	86	7	8.1%		島袋	107	28	26.2%
	安座真	151	36	23.8%		当間	130	16	12.3%
	知名	204	60	29.4%		仲程	119	22	18.5%
	海野	155	24	15.5%		高宮城	64	5	7.8%
	久原	99	11	11.1%		銭又	53	2	3.8%
	久高	89	20	22.5%		平川	93	1	1.1%
	小計	1,362	283	20.8%		稲嶺	172	16	9.3%
大里地域					大里グリーンタウン	568	74	13.0%	
					目取真	150	23	15.3%	
					湧稲国	127	22	17.3%	
					大城	161	36	22.4%	
					稲福	148	3	2.0%	
					真境名	56	9	16.1%	
					大里団地	29	0	0.0%	
					大里第二団地	12	1	8.3%	
					大里ニュータウン	29	12	41.4%	
					第二グリーンタウン	22	0	0.0%	
					小計	2,645	321	12.1%	
					つきしろ	255	76	29.8%	
					計	9,183	1,484	16.2%	

## 3.2 利用者数

### (1) 利用者数の推移

- 「おでかけなんじい」の利用者数は、平成 25 年度 12 月の実験開始時の 28.5 人/日から平成 25 年度 3 月には 79.0 人/日へと増加、平成 26 年度になっても利用者数は概ね増加傾向を示し、平成 26 年度 12 月では 101.8 人/日まで増加しました。
- 平成 26 年度 12 月からの有償化により、「おでかけなんじい」の利用者は大幅に減少、有償化後は 1 月以降利用者数が増加しているものの、平成 26 年度 3 月の利用者数は 57.5 人/日と、平成 26 年度 12 月の約半分となっています。
- H26 無償実験と H26 有償実験の期間中の平均利用者数は、それぞれ 92.2 人/日、53.0 人/日であり、有償化に伴い利用者数が 57%に減少(43%減)しています。
- なお、平成 27 年度の利用者数は、4 月に 63.0 人/日と増加しましたが、5 月は休日が多いこともあり、利用者数が 55.5 人/日とやや減少しています。



データ:システムデータ

図-4.「おでかけなんじい」の日平均利用者数の推移

- 有償実験時における65歳以上の人口100人あたりの利用者数(自宅出発者数)は、5.2人/月となっています。
- 行政区別では、「西原」が71.3人/月と非常に多く、その他では、「山里」30.1人/月、「高宮城」19.7人/月、「具志堅」15.0人/月、「知念」14.5人/月の順に多くなっています。
- なお、65歳未満の人口100人あたりの利用者数は、0.3人/月となっています。

表 2.行政区別の「おでかけなんじい」利用状況(有償実験時の自宅出発者)

行政区	65歳以上人口	登録者数	利用者数	高齢者の人口100人あたりの利用者数(人/月)	備考	行政区	65歳以上人口	登録者数	利用者数	高齢者の人口100人あたりの利用者数(人/月)	備考
玉城地域	親慶原	302	77	51	4.7	佐敷地域	津波古	649	70	38	1.6
	垣花	111	24	22	5.6		小谷	159	13	11	1.9
	仲村渠	72	24	18	7.0		新里	205	20	22	3.0
	百名	200	44	78	10.9		兼久	101	19	10	2.8
	新原	70	12	26	10.4		佐敷	203	38	15	2.1
	玉城	46	3	1	0.6		手登根	207	50	67	9.1
	中山	71	12	5	2.0		伊原	78	17	21	7.5
	奥武	261	12	2	0.2		屋比久	106	24	39	10.3
	志堅原	94	9		0.0		外間	46	3		0.0
	堀川	135	27	38	7.9		富祖崎	119	39	19	4.5
	富里	84	14	3	1.0		仲伊保	153	31	27	4.9
	富山	92	12	13	4.0		新開	293	80	105	10.0
	屋嘉部	99	9	24	6.8		小計	2,319	404	374	4.5
	糸数	150	33	35	6.5		西原	35	6	89	71.3
	喜良原	172	8		0.0		南風原	74	9	4	1.5
	船越	247	52	30	3.4		平良	77	4		0.0
	愛地	144	8	12	2.3		嶺井	133	15	6	1.3
	前川	252	20	17	1.9		嶺井団地	90			0.0
	小計	2,602	400	375	4.0		古堅	93	15	10	3.0
知念地域	志喜屋	207	59	80	10.8	福原	103	2	10	2.7	
	山里	67	21	72	30.1	島袋	107	28	22	5.8	
	具志堅	60	11	32	15.0	当間	130	16	10	2.2	
	知念	195	28	101	14.5	仲程	119	22	47	11.1	
	吉富	49	6	1	0.6	高宮城	64	5	45	19.7	
	久手堅	86	7	12	3.9	銭又	53	2		0.0	
	安座真	151	36	28	5.2	平川	93	1		0.0	
	知名	204	60	97	13.3	稲嶺	172	16	3	0.5	
	海野	155	24	25	4.5	大里グリーンタウン	568	74	113	5.6	
	久原	99	11	3	0.8	目取真	150	23	11	2.1	
	久高	89	20		0.0	湧稲国	127	22	24	5.3	
	小計	1,362	283	451	9.3	大城	161	36	5	0.9	
	大里地域						稲福	148	3	0	0.0
						真境名	56	9	4	2.0	
						大里団地	29	0		0.0	
						大里第二団地	12	1		0.0	
						大里ニュータウン	29	12		0.0	
						第二グリーンタウン	22			0.0	
						小計	2,645	321	403	4.3	
						つきしろ	255	76	103	11.3	
						小計	255	76	103	11.3	
						計	9,183	1,484	1,706	5.2	



(2) 観光客の利用者数の推移

- 観光客の「おでかけなんじい」の日平均利用者数の推移をみると、月による変動が非常に大きく、H26 無償実験期間中では、最小は6月の2.8人/日に対し、最大は、8月の11.8人/日と8.0人/日、4.2倍の大きな差があります。
- 有償実験時の観光客の利用ODをみると、「がんじゅう駅・南城」から「おきなわワールド文化王国…玉泉洞」までの利用が25人と最も多く、その他では、「安座真船待合所」から「斎場御嶽」が18人と多く、施設別では、「がんじゅう駅・南城」、「おきなわワールド文化王国・玉泉洞」、「ユインチホテル南城」関連の移動が多くなっています。

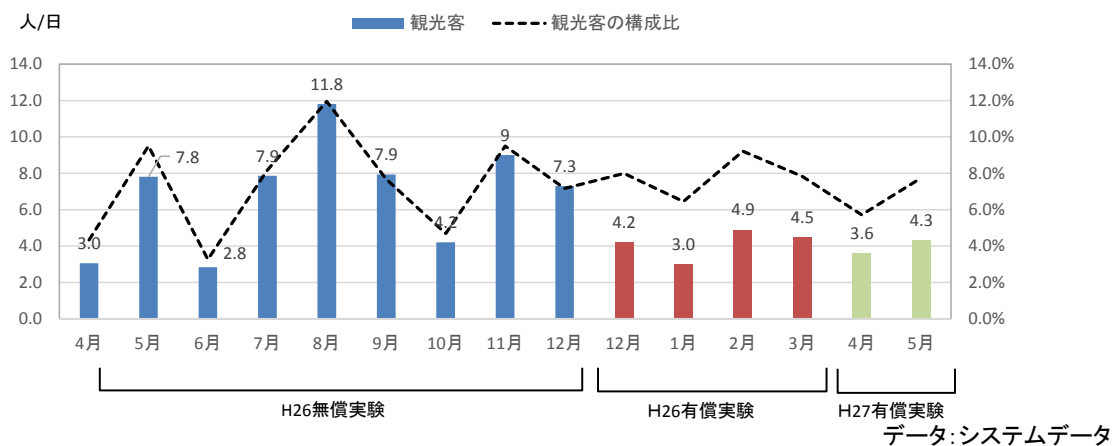


図-5.「おでかけなんじい」の観光客の日平均利用者数の推移

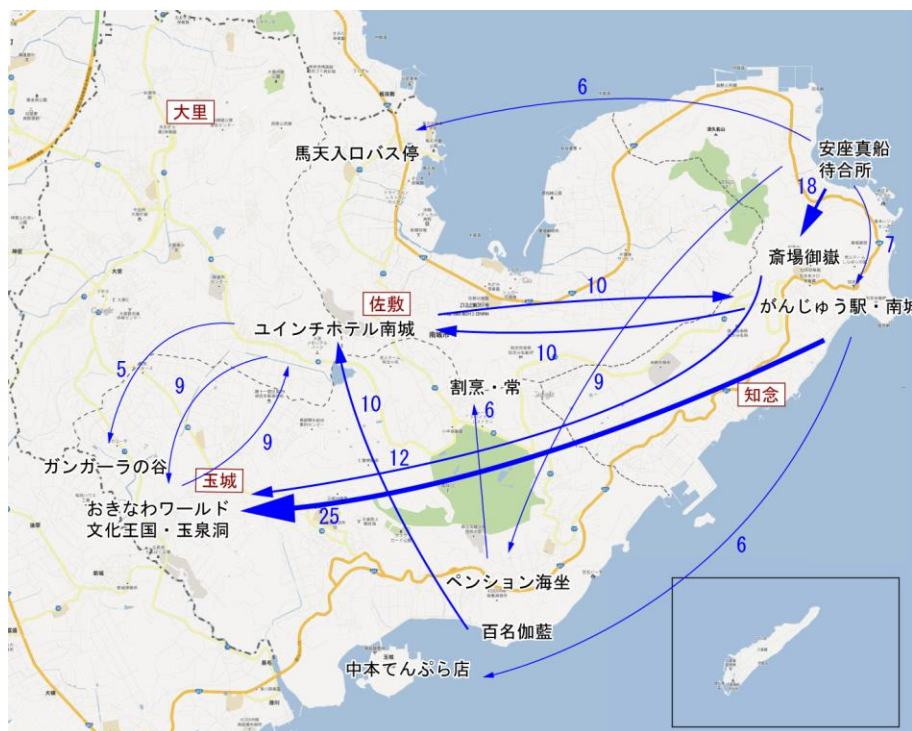
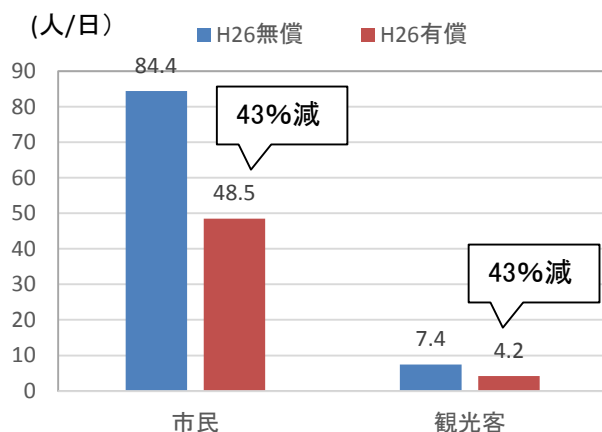


図-6.有償実験時の観光客の「おでかけなんじい」利用OD

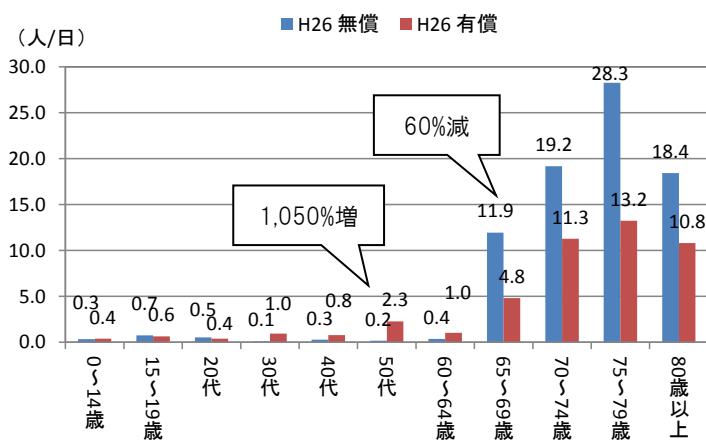
### (3) 無償実験と有償実験の利用者数の比較

- 有償化により市民、観光客ともに43%利用者数が減少しています。
- H26 無償実験、H26 有償実験ともに、「75～79 歳」の利用が最も多くなっていますが、有償化により利用者数はほぼ半減しています。
- 65 歳以上の利用者数は大きく減少、特に「65～69 歳」は60%減と減少幅が大きくなっています。
- 有償化により久高島在住以外の65 歳未満の方も登録できるようになったことで、30 歳以上の利用が増加、特に「50 代」は1,050%増と12 倍に増加していますが、全体に占める割合は5%にとどまっています。
- 65 歳未満の利用割合は、H26 無償実験の3%からH26 有償実験では15%に増加しています。



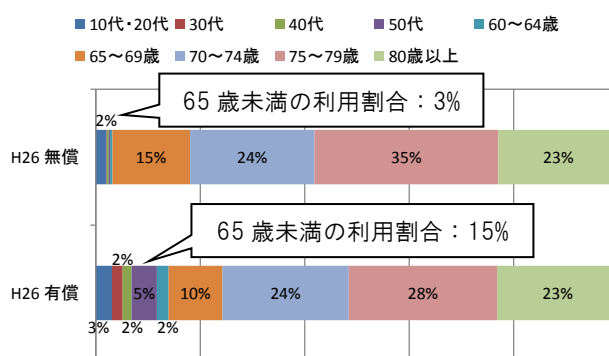
データ:システムデータ

図-7.市民・観光客別の「おでかけなんじい」の日平均利用者数の変化



データ:システムデータ

図-8.年代別の「おでかけなんじい」の日平均利用者数の変化

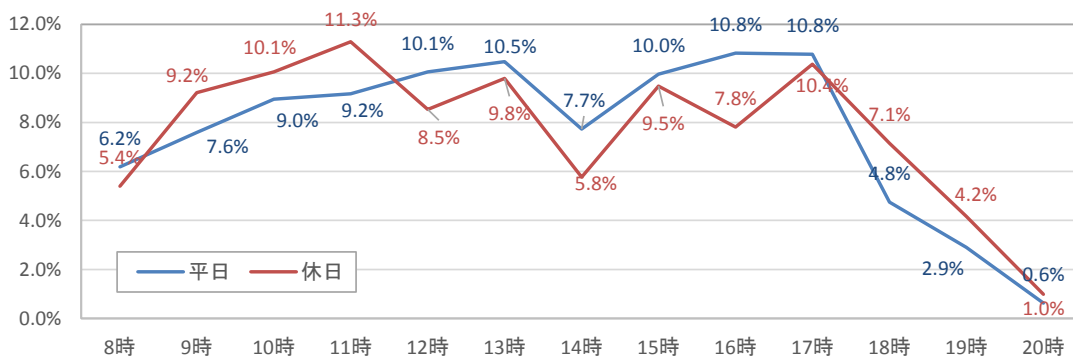


データ:システムデータ

図-9.利用者の年代別構成比の変化

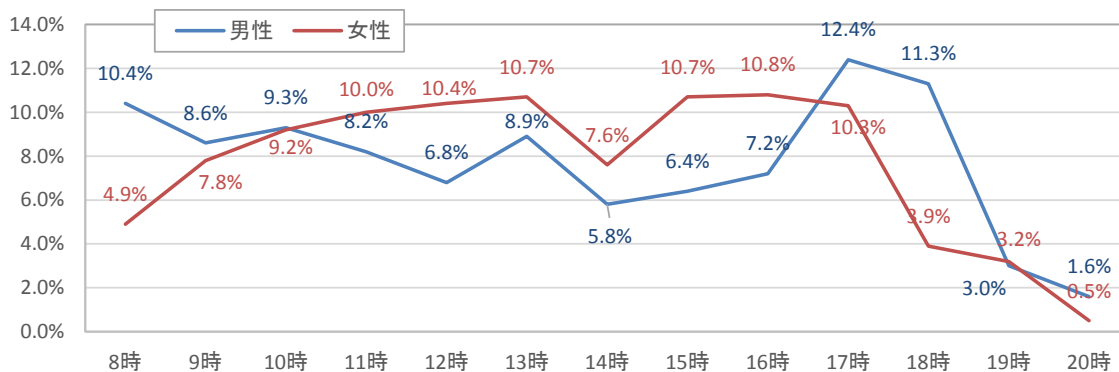
(4) 時間帯別の利用状況

- 平日と休日の時間帯別利用状況をみると、平日は利用時間が午前・午後に分散しているのに対し、休日は午前と夕方 17 時台に偏っています。
- 男女別では、女性は 11～13 時、15 時～17 時台の構成比が 10%以上と利用時間帯が午前、午後に分散しているのに対し、男性は 8 時台、又は夕方の 17 時、18 時台の利用が多くなっています。



データ:システムデータ

図-10.平日・休日別の「おでかけなんじい」の時間帯別利用者数の構成比



データ:システムデータ

図-11.男女別の「おでかけなんじい」の時間帯別利用者数の構成比

### 3.3 デマンド交通での立ち寄り先

#### (1) 市民の市内での立ち寄り先の変化

- H26 無償実験からH26 有償実験への移行により、「おでかけなんじい」の利用者数は、92.2人/日から53.0人/日へと43%減少していますが、市民の立ち寄り先別にみると、「公共施設」への立ち寄りがH26 無償実験に比べ、75%減と大幅に減少しています。
- また、「医療機関」、「その他施設」への立ち寄りもほぼ半減しています。
- 一方、「交通施設」については、H26 無償実験の86%の利用（14%減）にとどまっており、市外へのアクセス拠点となる「馬天入口バス停」等の利用が大幅に減少していないことから、市外への移動のニーズ・重要性は高い、もしくは家族等の送迎での代替が難しい状況であることがうかがえます。

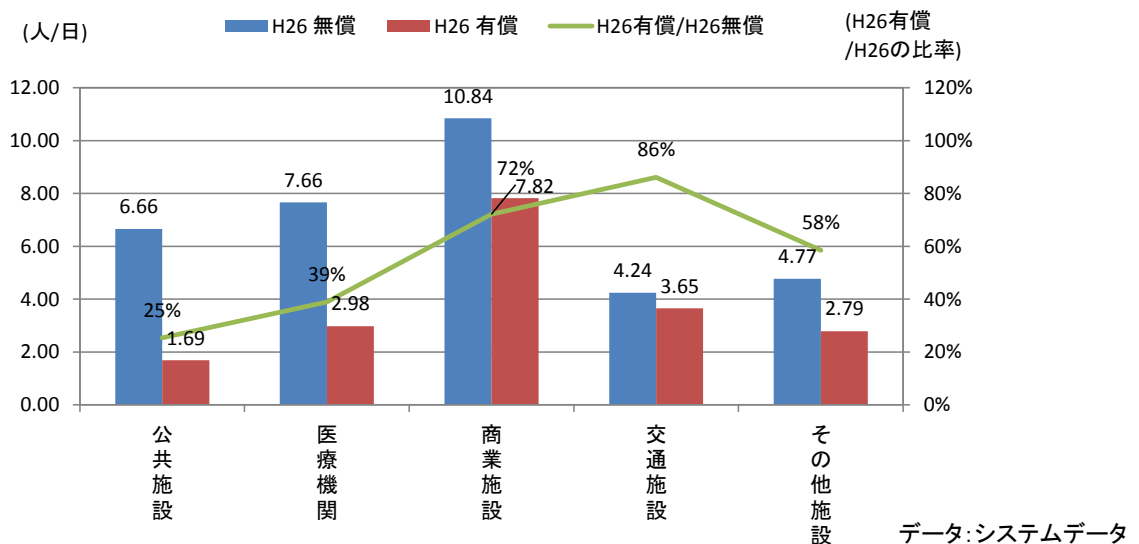


図-12.「おでかけなんじい」利用での立ち寄り先の区分別の変化(市民)

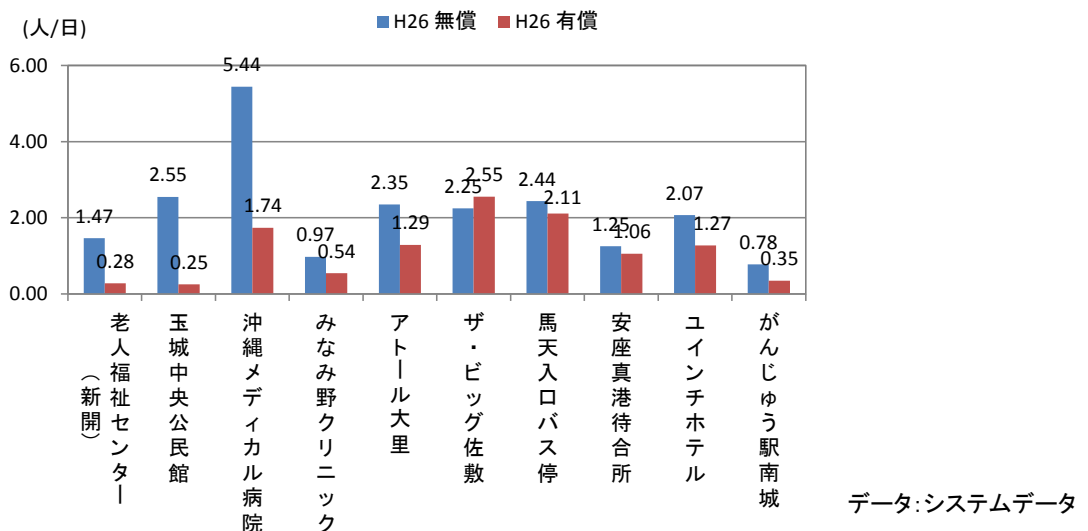


図-13.「おでかけなんじい」利用での主な施設への立ち寄り状況(市民)

- H26 無償実験、H26 有償実験における市民の「おでかけなんじい」利用での立ち寄り先をみると、H26 無償では「馬天入口バス停」が 2.44 人/日で 3 位、「安座真港待合所」が 1.25 人/日で 10 位と交通施設が上位に位置しています。
- さらに、H26 有償実験時には、「馬天入口バス停」が 2.11 人/日で 2 位、「安座真港待合所」が 1.06 人/日で 7 位とそれぞれ順位をあげており、有償化により「おでかけなんじい」の交通結節点までのアクセス手段としての役割は高まっています。
- なお、馬天入口バス停までの移動は、安座真、知念といった知念地域からの利用が多くなっています。

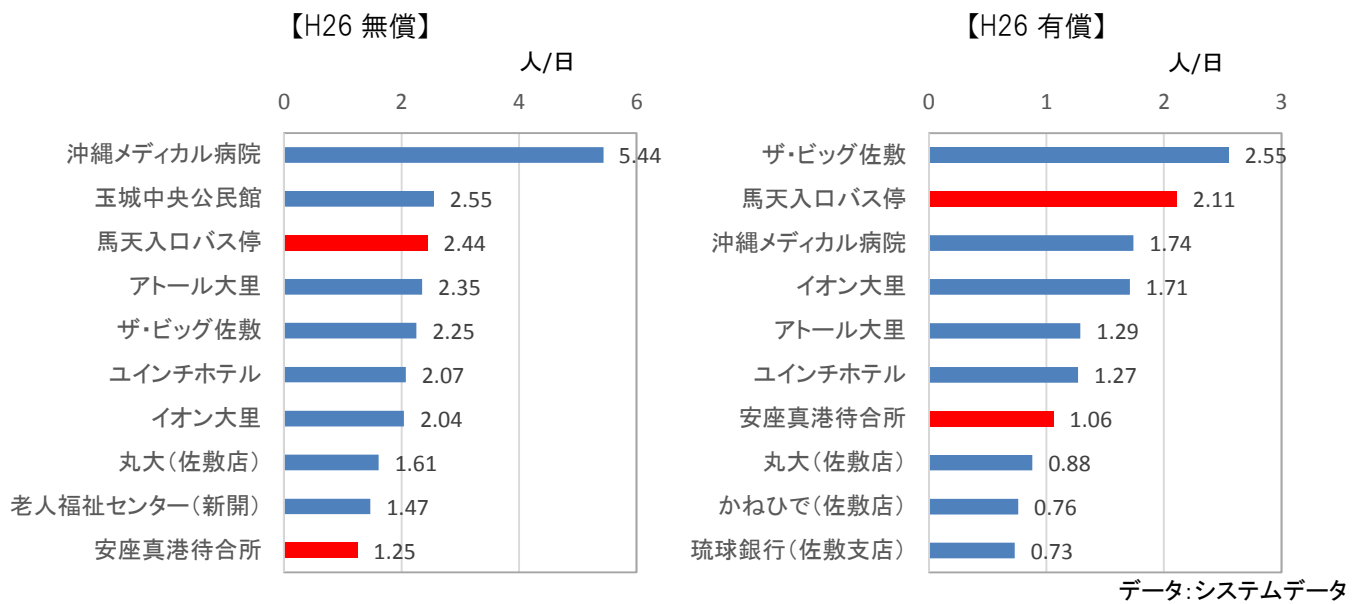


図-14.「おでかけなんじい」利用での立ち寄り先上位 10 箇所(左:H26 無償、右:H26 有償)

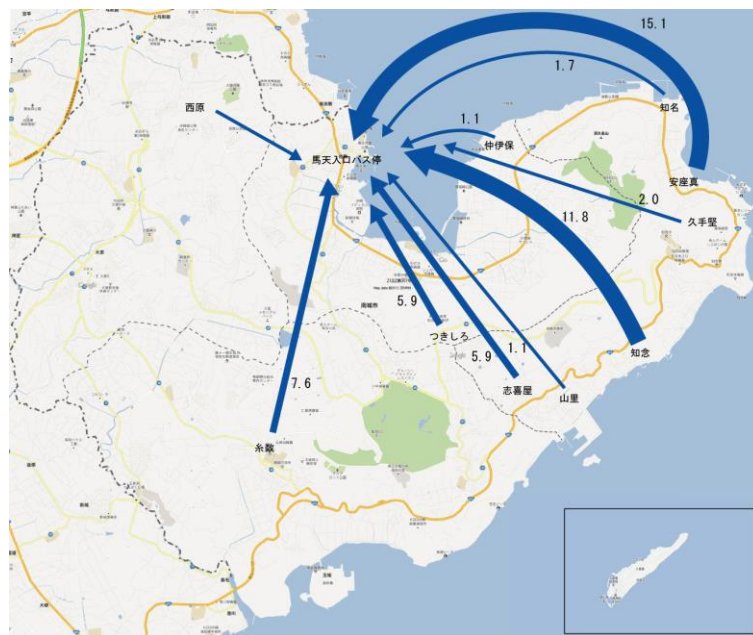
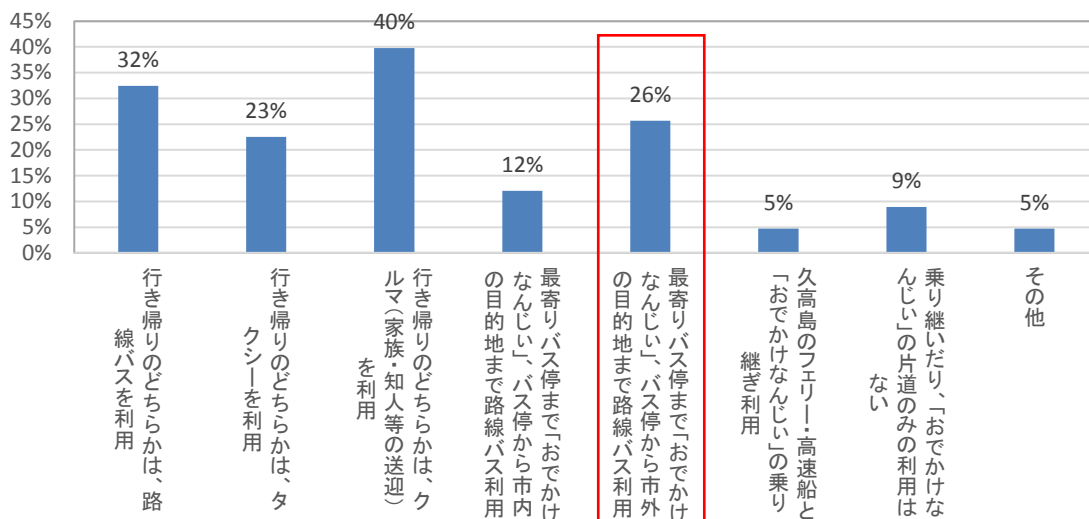


図-15.市民の馬天入口バス停までの主な出発地と1ヶ月あたりの利用者数(H26 有償実験)

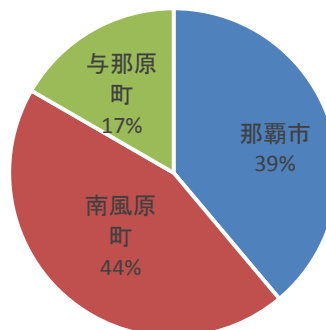
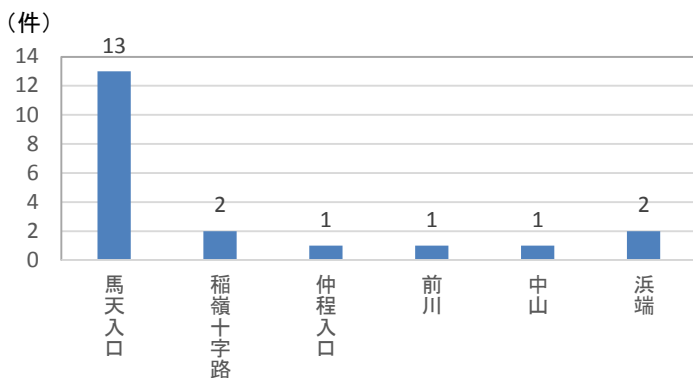
(2) 市外への外出状況

- 有償時の他の交通機関との乗り継ぎ状況をみると、「行き帰りのどちらかは、クルマ（送迎）を利用」が40%と最も多く、次いで、「行き帰りのどちらかは、路線バスを利用」が32%、「最寄りバス停まで『おでかけなんじい』、バス停から市外の目的地まで路線バス利用」26%、「行き帰りのどちらかは、タクシーを利用」23%と、多くの方が他のクルマの送迎以外にも、路線バスや、タクシーと乗り継いで「おでかけなんじい」を利用しています。
- 市外の乗り継ぎに利用するバス停は、「馬天入口バス停」が13件と多く、市外の目的地としては、「南風原町」44%、「那覇市」39%、「与那原町」17%の構成比になっています。



データ: H26 登録者アンケート

図-16.他の公共交通機関との乗り継ぎ利用(複数回答)



データ: 登録者アンケート

図-17.市外への乗り継ぎに利用するバス停と市外の行き先

～イオンタウン南城大里での取組について～

イオンタウン南城大里では、5/1 より施設内の 2,000 円以上のレシートで、「おでかけなんじい」の無料券を配布する取組を行っています。

The image shows a screenshot of the AEON TOWN website for the 'Iontown Nanjo Daishi' location. At the top, there are navigation tabs for 'ホーム', 'ニュース', 'ショップ & レストラン', 'フロアガイド', and 'アクセス'. Below this, a 'ニュース' (News) section is active, displaying a banner for a '送迎バス無料券プレゼントキャンペーン中!' (Free shuttle bus coupon giveaway campaign!).

The main banner features the text: **イオンタウン南城大里 「おでかけなんじい」 無料券プレゼント**. Below this, it states: **イオンタウン南城大里内にて お買上げレシート2千円以上ご提示ください。** (Present a receipt of 2,000 yen or more purchased at AEON TOWN Nanjo Daishi). The coupon value is **片道300円分 (お1人様1枚限り)** (One-way 300 yen, one per person). The distribution location is **無料券配布場所: マックスバリュ南城大里店サービスカウンター** (Free coupon distribution location: Max Value Nanjo Daishi store service counter). It is valid **発行当日のみ有効** (Valid only on the day of issue).

Additional details include: **対象: 全南城市民・南城市内を訪れる観光客の皆さま** (Target: All citizens of Nanjo City and tourists visiting the city); **運行期間: 南城市内 (久高島を除く)** (Operation period: Nanjo City (excluding Kuchikojima)); **運行時間: 毎日 午前8時～午後9時** (Operation time: Daily 8:00 AM ~ 9:00 PM); **利用運賃: 1人1回 300円 (現金払い)** (Fare: 300 yen per person per trip, cash payment). A red circle notes **乗車には 事前登録が 必要です** (Registration is required for boarding). The contact number is **☎098-949-1235**.

At the bottom of the page, there are links for '诚聘英才', 'サイトマップ', 'お問い合わせ', 'サイト利用規約', 'プライバシーポリシー', '環境・社会貢献活動', and 'イオンタウン株式会社'. The footer includes the AEON logo, 'Copyright © 2015 AEON TOWN Co., Ltd. All rights reserved.', and a '未を挿入しています' (Image not inserted) notice.

出典: イオンタウン南城大里HP

図-18.「おでかけなんじい」無料券プレゼントのお知らせ